

【 お客さま本位の業務運営 】

福岡中央銀行における取組状況

－ 2023年度 －

株式会社福岡中央銀行（以下「当行」）は、ふくおかフィナンシャルグループ（以下「FFG」）の一員として、FFGのブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を実現するため、お客さま一人ひとりに最適な商品・サービスをご提供する「お客さま本位の業務運営」に從來から一貫して取り組んでおります。

具体的には、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針（以下「本方針」）」を定め、本方針に基づき当業務運営を行っておりますが、その取組状況につきましては、下記「金融商品に係る業務運営の取組状況（2023年度実績）」に記載の通りです。

また、この取組状況につきましては今後とも定期的に公表するほか、より良い業務運営を実現するため随時、活動内容等の見直しを行ってまいります。

金融商品に係る業務運営の取組状況（2023年度実績）

取組状況に該当する 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」	金融商品に係る業務運営の取組状況
1.お客さまの最善の利益の追求	①お客さま本位の取組みの実践 ②重要な情報の分かりやすい提供 ③お客さまにふさわしいサービスの提供 ④従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
2.利益相反の適切な管理	①お客さま本位の取組みの実践 ③お客さまにふさわしいサービスの提供
3.手数料の明確化	②重要な情報の分かりやすい提供
4.重要な情報の分かりやすい提供	②重要な情報の分かりやすい提供 ③お客さまにふさわしいサービスの提供
5.お客さまにふさわしいサービスの提供	②重要な情報の分かりやすい提供 ③お客さまにふさわしいサービスの提供
6.従業員に対する適切な動機付けの枠組み等	④従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

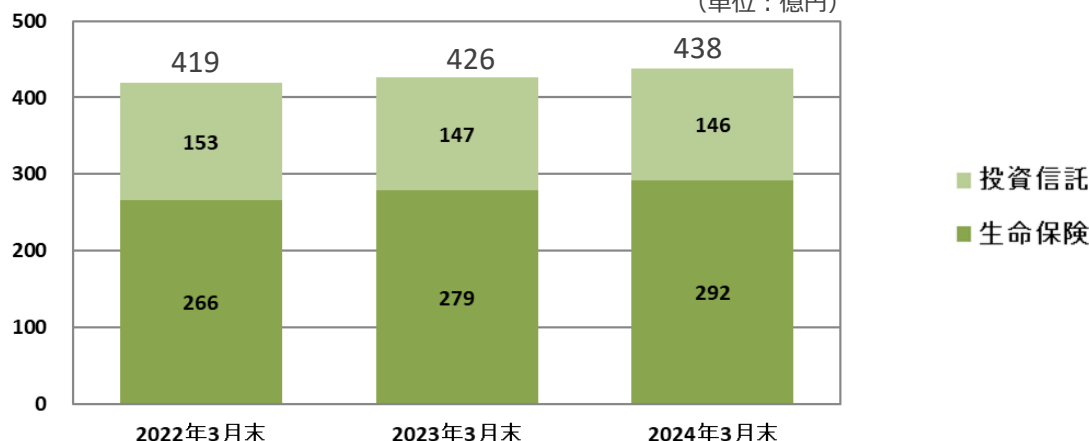
① お客さま本位の取組みの実践

取組方針：1.お客さまの最善の利益の追求
2.利益相反の適切な管理

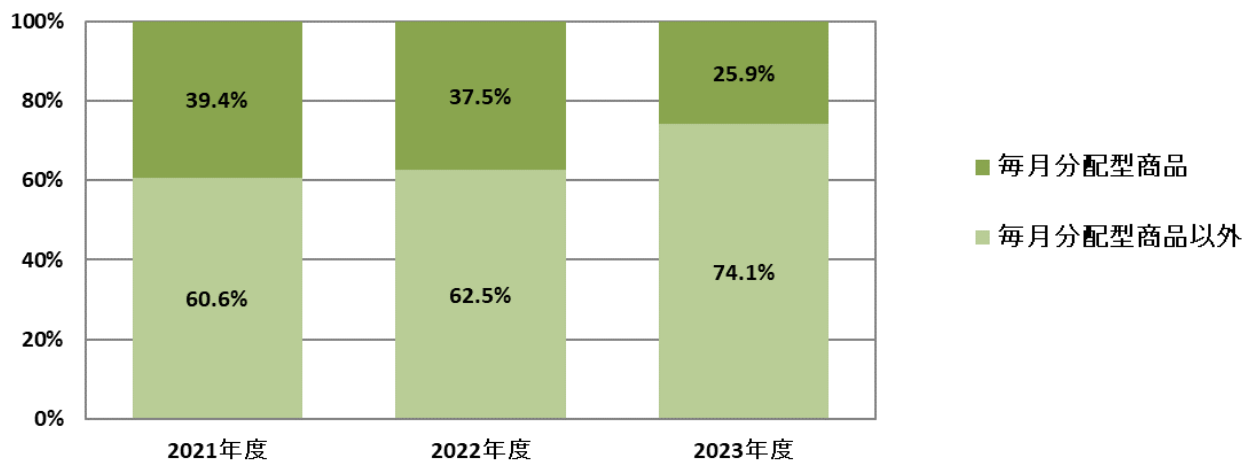
- 当行は、FFGのブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を実現するため、お客さま一人ひとりに最適な商品・サービスをご提供する「お客さま本位の業務運営」に従来から一貫して取り組んでおります。

■ 預り資産残高（投資信託+生命保険）の推移

(単位：億円)

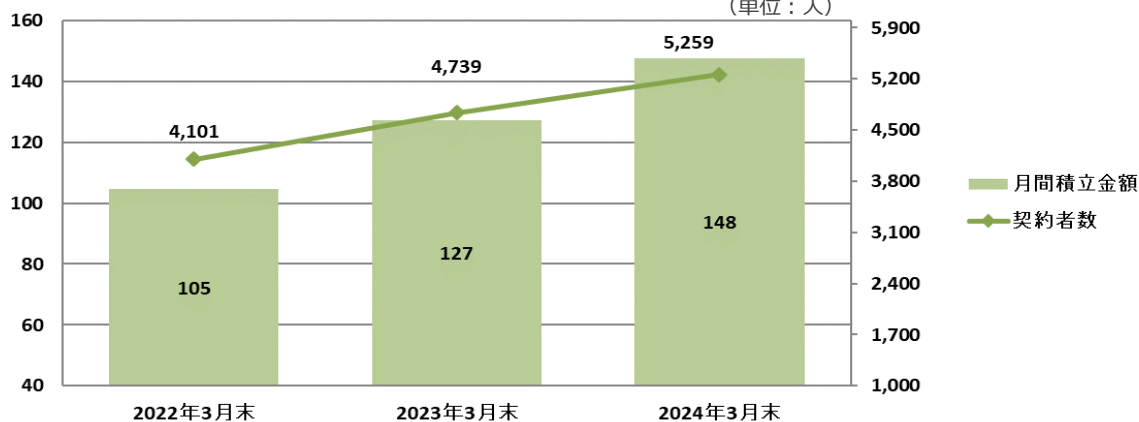


■ 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率



■ 積立投信ご契約者数・月間積立金額の推移

契約者数
(単位：人)



② 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針：1.お客さまの最善の利益の追求
3.手数料の明確化
4.重要な情報の分かりやすい提供
5.お客さまにふさわしいサービスの提供

- お客さまにご理解を深めていただけるよう、商品やサービスの販売・推奨に係る重要な情報および市場動向等に関する情報の提供を行っております。

■投資信託アフターフォローの実施状況

投資信託を一定金額保有していただいている等のお客さまに対して、半年に1回アフターフォローを実施し、保有商品の運用状況や市況等について継続的な情報提供を行っております。

	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	2回	2回	2回
フォロー率	94.7%	93.5%	92.0%

■お客さまセミナー等

<お客さま向けセミナー・運用報告会>

お客さまの資産形成に役立つ金融商品やマーケット等の情報提供を行うため、2022年度よりお客さま向けセミナー等を再開いたしました。

	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	0回	6回	8回

※ 2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、実施を見送っておりました。

<お取引先の従業員様向けセミナー>

将来への資産形成の重要性をテーマとして、つみたてNISA、個人型確定拠出年金（iDeCo）等の商品を紹介する職域セミナーを実施しております。

	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	8回	9回	12回

③ お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針：1.お客様の最善の利益の追求
2.利益相反の適切な管理
4.重要な情報の分かりやすい提供
5.お客様にふさわしいサービスの提供

- 適切に商品ラインナップの見直しを行い、お客様一人ひとりのライフステージやライフプランに適した提案を行ってまいります。

■投資信託

＜商品ラインナップ＞

(単位：数、%)

種類		2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
債券	国内債券	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	海外債券	12	25.5%	8	19.1%	8	17.8%
株式	国内株式	5	10.6%	4	9.5%	5	11.1%
	海外株式	13	27.7%	16	38.1%	18	40.0%
REIT	国内REIT	2	4.3%	2	4.8%	2	4.4%
	海外REIT	3	6.4%	3	7.1%	3	6.7%
バランス型		12	25.5%	9	21.4%	9	20.0%
合計		47	100.0%	42	100.0%	45	100.0%

＜投資信託の商品ラインナップにおける毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の比率＞

(単位：数、%)

種類	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品	17	36.2%	15	35.7%	15	33.3%
毎月分配型商品以外	30	63.8%	27	64.3%	30	66.7%
合計	47	100.0%	42	100.0%	45	100.0%

＜投資信託 販売件数上位5商品(2023年度)＞

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和アセットマネジメント	国内REIT
2	ROE向上・日本厳選株式ファンド	三井住友アセットマネジメント	国内株式
3	米国株式インデックス（S&P500）	大和アセットマネジメント	外国株式
4	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	野村アセットマネジメント	外国債券
5	ニッセイ・メタバースワールド（資産成長型）	ニッセイアセットマネジメント	外国株式

＜積立投資信託 販売件数上位5商品(2023年度)＞

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	野村アセットマネジメント	外国債券
2	つみたて先進国株式	三菱UFJアセットマネジメント	外国株式
3	つみたて日本株式（日経平均）	三菱UFJアセットマネジメント	国内株式
4	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式
5	つみたて8資産均等バランス	三菱UFJアセットマネジメント	バランス

③ お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針：1.お客様の最善の利益の追求
2.利益相反の適切な管理
4.重要な情報の分かりやすい提供
5.お客様にふさわしいサービスの提供

■保険

<生命保険商品ラインナップ>

(単位：数、%)

種類			2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
			商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
一時払	定額個人年金	円建	2	2.4%	2	2.5%	1	1.3%
		外貨建	2	2.4%	2	2.5%	1	1.3%
	終身保険	円建	5	6.1%	5	6.3%	5	6.5%
		外貨建	6	7.3%	7	8.9%	7	9.1%
	養老保険	円建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		外貨建	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
平準払	定額個人年金 保険	円建	2	2.4%	1	1.3%	1	1.3%
		外貨建	1	1.2%	1	1.3%	2	2.6%
	終身保険	円建	14	17.1%	13	16.5%	13	16.9%
	養老保険		3	3.7%	3	3.8%	3	3.9%
	定期保険		23	28.1%	23	29.1%	24	31.1%
	収入保障保険		7	8.6%	5	6.3%	5	6.5%
	医療・がん保険		16	19.5%	16	20.2%	14	18.2%
	学資保険		0	0.0%	1	1.3%	1	1.3%
合 計			82	100.0%	79	100.0%	77	100.0%

< 生命保険 販売件数上位5商品(2023年度) >

順位	商品名	保険会社名	種類
1	外貨建エブリバディプラス	明治安田生命	一時払・終身・外貨建
2	生涯プレミアムワールド5	T&Dフィナンシャル生命	一時払・終身・外貨建
3	ふるはーとJロードグローバルⅡ	住友生命	一時払・終身・外貨建
4	エブリバディⅡ	明治安田生命	一時払・終身・円建
5	生涯プレミアムジャパン5	T&Dフィナンシャル生命	一時払・終身・円建

④ 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

取組方針：1.お客さまの最善の利益の追求
6.従業員に対する適切な動機
付けの枠組み等

- お客さまへ満足いただける高度な金融サービスを提供するため、従業員に対しFP（ファイナンシャル・プランナー）等の資格取得を奨励しております。
- また、FP等資格取得を昇進条件とし、人事制度にも反映しております。

＜FP1級・FP2級の資格保有者数＞

2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
217名	225名	220名

【投資信託共通KPI】

リスク・コストとリターンのバランスがとれた、安定的な運用成果をご享受いただけるよう、お客さまにご提案しております。なお、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較することのできる3つの指標（以下「共通KPI」）を公表します。

● 共通KPIの内容

① 運用損益別顧客比率

- 基準日時点で投資信託を保有しているお客さまについて、保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です（数値については小数点第二位を四捨五入して記載）。この指標により、お客さまの運用損益がどの様に分布しているかが分かります。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

③ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコスト（販売手数料の1/5と信託報酬の合計値）とリターン（過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算）の関係、リスク（過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキ）とリターンの関係を示した指標です。
- これらの指標により、中長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供させていただいたかを見ることができます。

● 共通KPIの定義

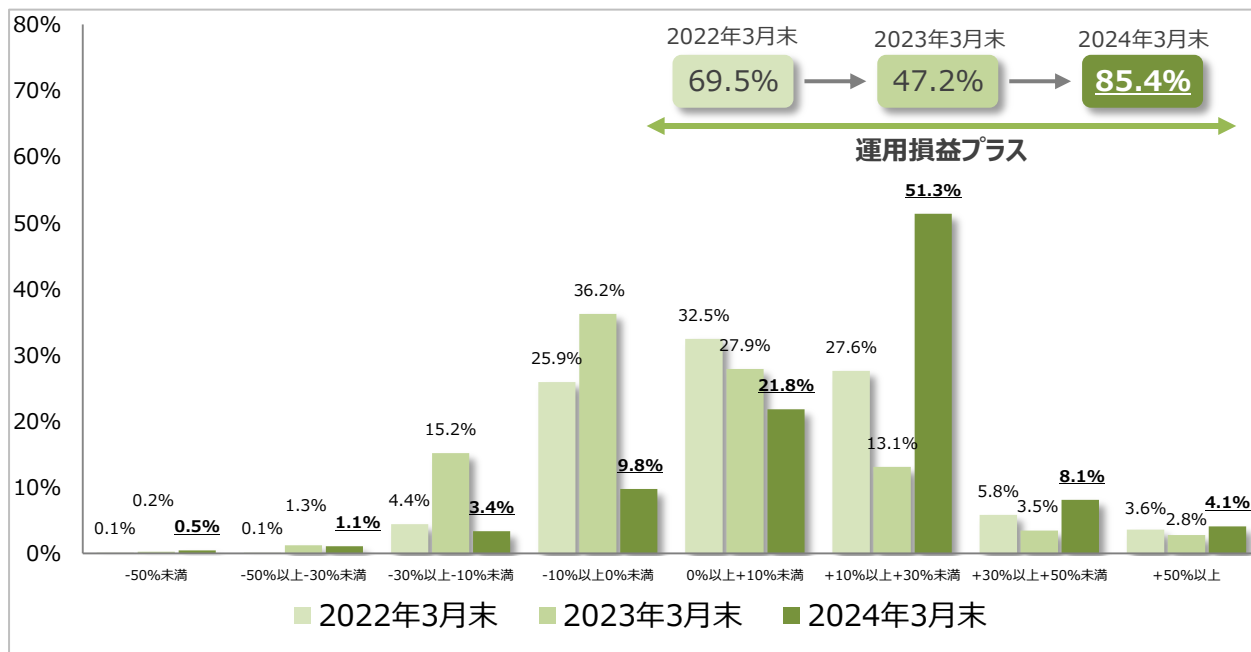
内容	定義・算出方法
対象	基準日時点で投資信託を保有している個人のお客さま
基準日	2024年3月末を基準日とする
コスト	販売手数料率（消費税込）の1/5（年率換算）＋ 信託報酬率
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

① 運用損益別顧客比率 (2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末現在)

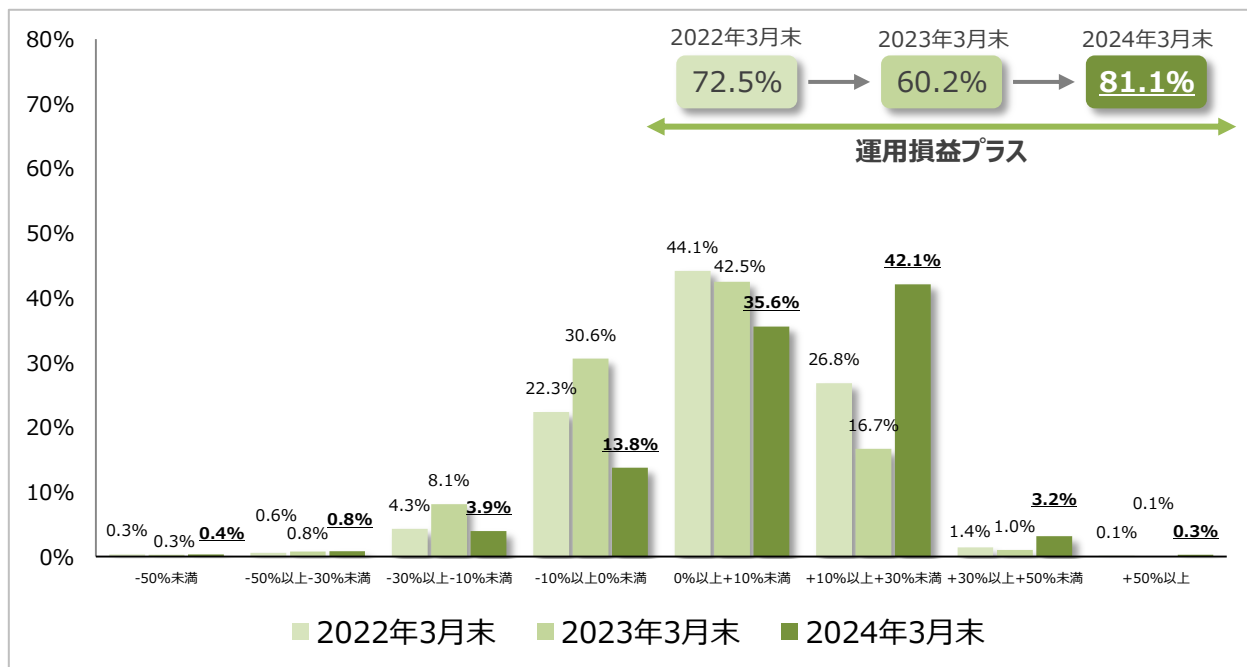
- 2023年度は米連邦準備理事会（FRB）による早期利下げ観測が広がり年末にかけて世界の株価が上昇し、また、為替が円安に進んだ影響で海外株式、海外債券等の価格が上昇しました。このため前年に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。引き続きお客さまへのフォローアップを徹底するとともに、安定的なリターンをご享受いただけるよう、資産分散・時間分散による長期的な資産形成をご提案してまいります。

【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率：この指標は売却や償還により基準日時点で投資信託を保有していないお客さまも含めた運用損益別のお客さまの分布を示したものです。

① 運用損益別顧客比率



【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率



※下線を引いたものが2024年3月末の数値です。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

③ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 本年度は、残高上位20商品のリターン（加重平均ベース）は上昇しました。コストおよびリスクに大きな変化はありません。

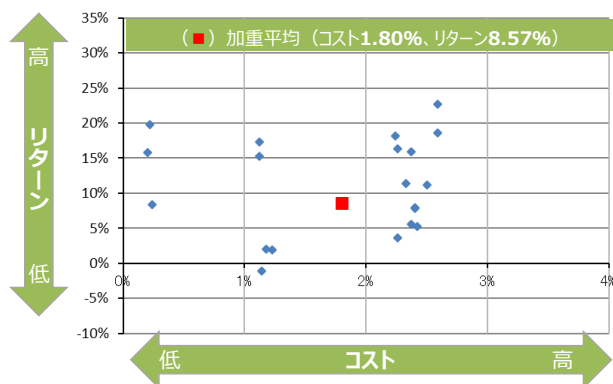
投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末現在）

	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
1	タイウーREITオープン（毎月分配型）	1.23%	15.30%	1.96%
2	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	2.40%	9.88%	7.93%
3	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40%	9.94%	7.87%
4	株式インデックス225	1.12%	17.00%	15.22%
5	アジア・モビリティ好配当成長株ファンド（毎月分配型）	2.42%	17.24%	5.26%
6	タイウーREITオープン（1年決算型）	1.18%	15.30%	1.98%
7	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
8	ROE向上・日本厳選株式ファンド	2.37%	15.01%	15.93%
9	ゴッセイ・ワールドスポーツ・ファンド・メタリスト	2.50%	17.20%	11.20%
10	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	2.59%	28.05%	18.61%

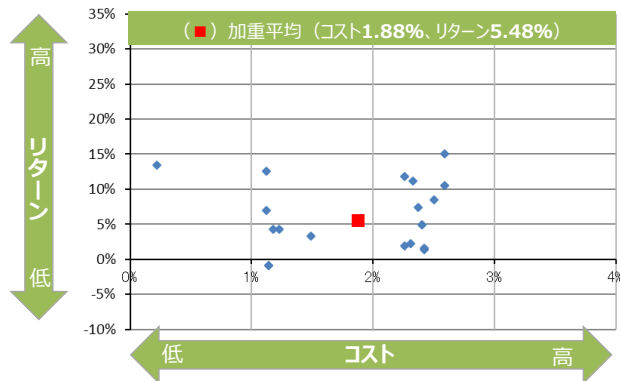
	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
11	タイウーUS-REITオープン（毎月決算型）	2.33%	18.94%	11.41%
12	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	21.46%	3.68%
13	つみたて先進国株式	0.22%	17.18%	19.81%
14	深セン・イノベーション株式ファンド（1年決算型）	2.37%	28.67%	5.58%
15	インデックスファンドN.Y.ダウ30（アメリカ株式）	1.12%	17.26%	17.36%
16	米国連続増配成長株オープン	2.26%	15.48%	16.31%
17	つみたて日本株式（日経平均）	0.20%	17.02%	15.75%
18	つみたて8資産均等バランス	0.24%	10.38%	8.35%
19	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.14%	3.81%	-1.09%
20	AI（人工知能）活用型世界株ファンド	2.24%	16.66%	18.13%
	残高加重平均値（■）	1.80%	15.99%	8.57%

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

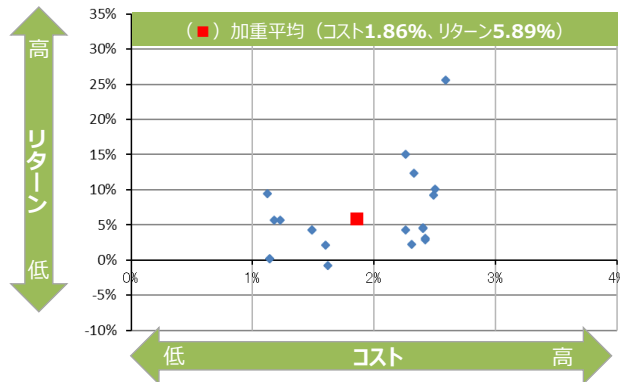
<2024年3月末>



<2023年3月末>

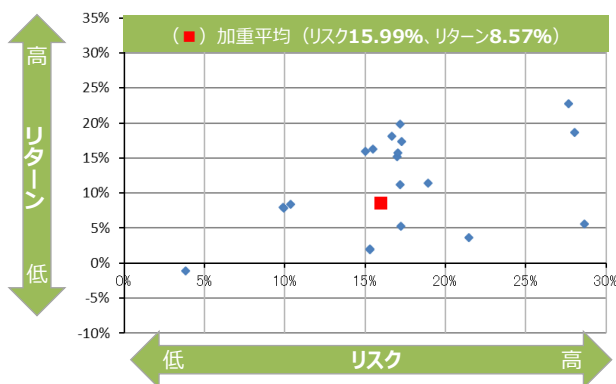


<2022年3月末>

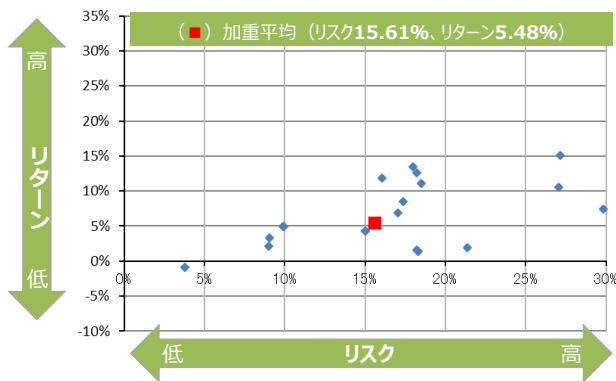


③ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

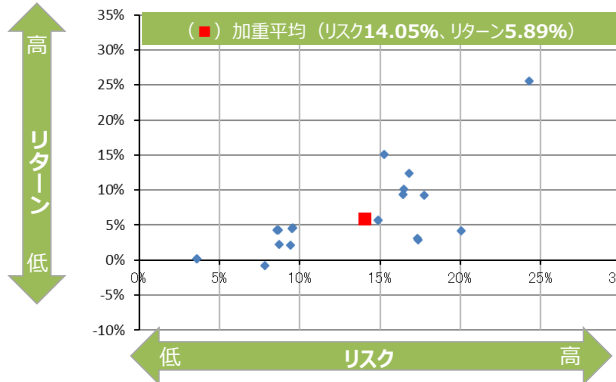
<2024年3月末>



<2023年3月末>



<2022年3月末>



【外貨建保険共通KPI】

コストとリターンのバランスがとれた、安定的な運用成果をご享受いただけるようお客さまに提案しております。なお、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較することのできる2つの指標（以下「共通KPI」）を公表します。

● 共通KPIの内容

① 運用評価別顧客比率

基準日時点で外貨建一時払保険商品を保有しているお客さまについて、契約ごとの評価損益を算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です（数値については小数点第二位を四捨五入して記載）。この指標により、お客さまの運用評価がどの様に分布しているかが分かります（※）。

② 銘柄別コスト・リターン

保険契約開始から5年以上で残高（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額の合計額）の上位10銘柄について、銘柄毎及び基準日時点の加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供させていただいたかを見ることができます。

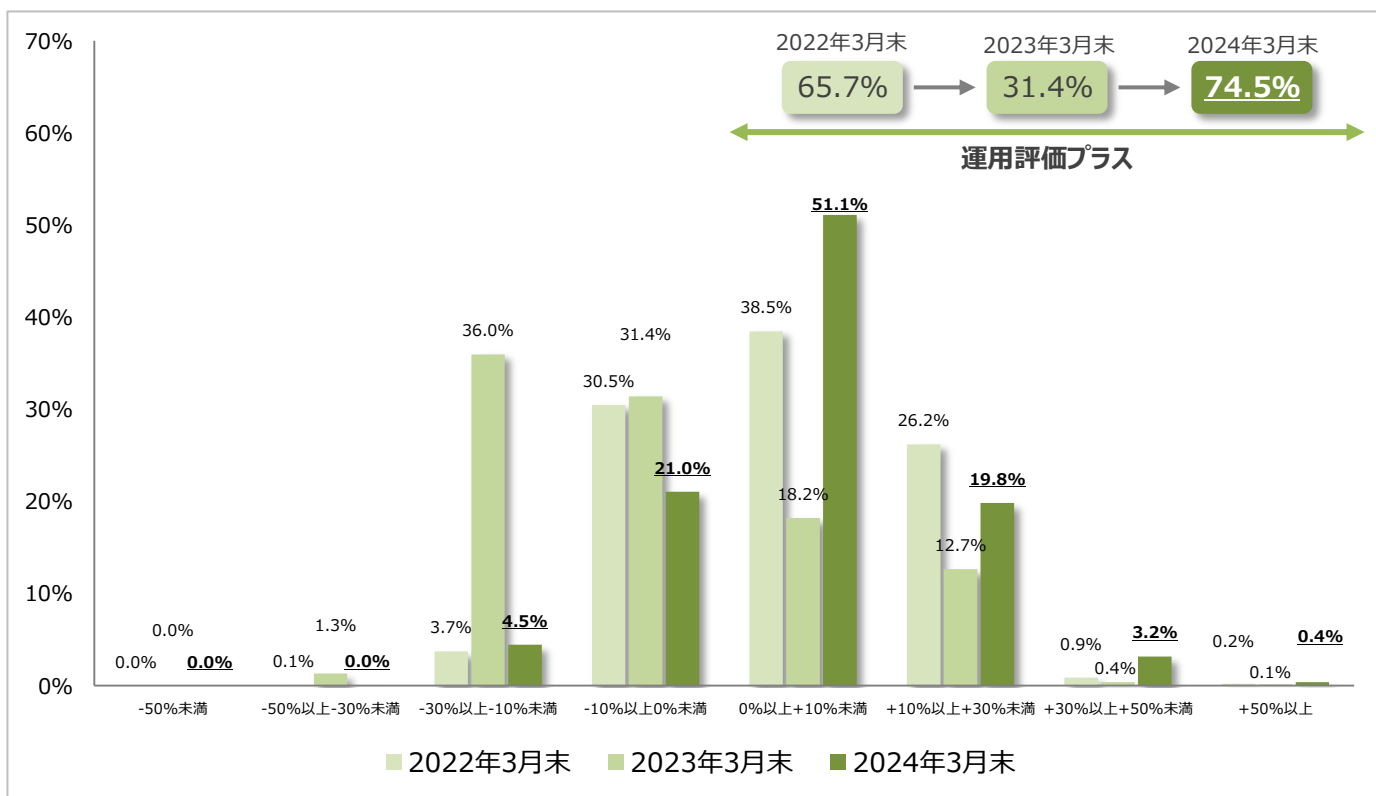
● 共通KPIの定義

内容	定義・算出方法
対象	基準日時点で外貨建一時払保険商品を保有しているお客さま
基準日	2024年3月末を基準日とする
コスト	①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出 なお、手数料率は、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から5年以上経過した契約（基準日時点で有効のもの）を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均した値を使用 ②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均
リターン	①各契約のリターン率について、$(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同 既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率換算 ②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均

- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

① 運用評価別顧客比率（2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末現在）

- 2023年度は、為替相場が円安に推移したことを受け、運用目標額に到達した契約等が増加したことにより、前年に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。



② 銘柄別コスト・リターン

- 2023年度は、為替相場が円安に推移したことを受け、運用目標額に到達した契約等が増加したことにより、残高上位10商品のリターン（加重平均ベース）は上昇しました。コストに大きな変化はありません。

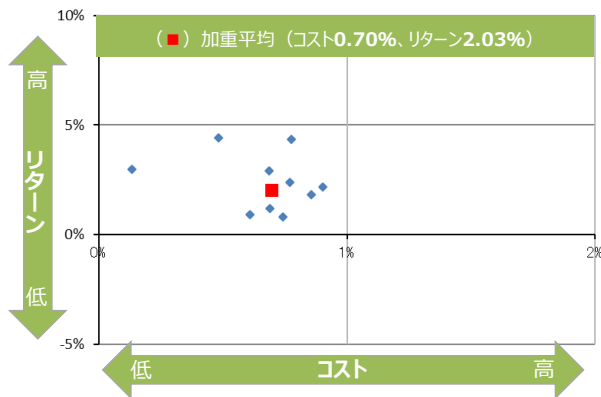
外貨建保険の残高上位10銘柄

<2024年3月末>

	銘柄名称	コスト	リターン
1	たのしみ、ずっと	0.77%	2.40%
2	やさしさつなぐ	0.61%	0.92%
3	しあわせ、ずっと	0.69%	1.19%
4	生涯プレミアムワールド4	0.86%	1.82%
5	ふるはーとJロードグローバル	0.77%	4.35%
6	外貨建エブリバディプラス	0.69%	2.93%
7	生涯プレミアムワールド3	0.74%	0.80%
8	アテナ	0.13%	2.97%
9	豪ドル建・一時払養老保険	0.48%	4.42%
10	しあわせ、ずっとN Z	0.90%	2.19%
	残高加重平均値(■)	0.70%	2.03%

上位10銘柄のコスト・リターン

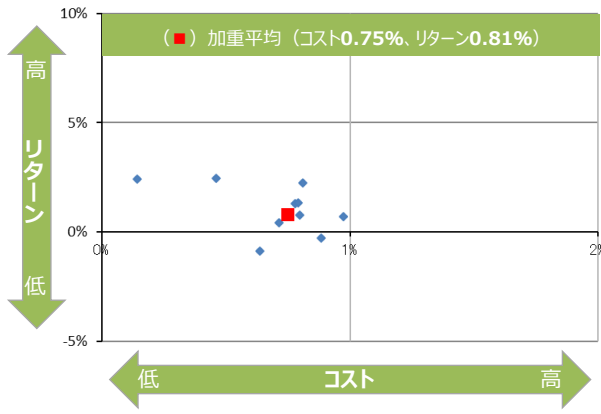
<2024年3月末>



<2023年3月末>

	銘柄名称	コスト	リターン
1	たのしみ、ずっと	0.78%	1.30%
2	しあわせ、ずっと	0.80%	0.78%
3	やさしさ、つなぐ	0.64%	-0.89%
4	生涯プレミアムワールド3	0.88%	-0.29%
5	生涯プレミアムワールド4	0.72%	0.42%
6	しあわせ、ずっとN Z	0.97%	0.71%
7	アテナ	0.14%	2.44%
8	外貨建エブリバディプラス (豪)	0.79%	1.34%
9	生涯プレミアムワールド2	0.46%	2.45%
10	ふるはーとJロードグローバル	0.81%	2.24%
	残高加重平均値(■)	0.75%	0.81%

<2023年3月末>



<2022年3月末>

	銘柄名称	コスト	リターン
1	たのしみ、ずっと	0.81%	2.05%
2	しあわせ、ずっと	0.86%	1.02%
3	生涯プレミアムワールド3	1.00%	0.82%
4	やさしさ、つなぐ	0.70%	0.30%
5	アテナ	0.16%	2.61%
6	しあわせ、ずっとN Z	0.99%	0.47%
7	みらい、そだてる	0.30%	0.54%
8	えがお、ひろがる	1.14%	0.57%
9	生涯プレミアムワールド2	0.52%	2.64%
10	アテナ 2	0.26%	1.60%
	残高加重平均値(■)	0.79%	1.40%

<2022年3月末>

